

相馬
ゆうこの

南千住レポート

まちづくり、
くらしの情報
を届けます

区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627

FAX: 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp

相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX:3807-4192

・HP→
・Twitter @m1010_yuko
・araken-nan.jugem.jp

区議会で質問 健康とくらしを支える荒川区に

26日(月)から、区議会6月会議が開会。26、28日の本会議で日本共産党区議団から斉藤区議、小島区議が質問を行いました。質問の一部と区の答弁要旨をお知らせします。



【問】見直しが求められる
「マイナ保険証」、区の認識は？

【答弁】マイナカードと保険証の一体化は被保険者、保険者（区）にもメリットがある。国の動向を注視し、適切な対応に努める。

マイナ保険証で別人とひも付けされるトラブルが7000件超など、計画見直しが求められています。施設入所者のマイナ保険証管理は困難、新たな「資格確認証」の発行など、制度の不備や区民の不安に区は言及なし。区民の命と健康を守る区の責任が問われます。

「マイナ保険証」巡る主なトラブル

- 1 別人の医療情報をひも付け (7372件)
- 2 本人の同意なく登録 (5件)
- 3 機器不具合などで患者に医療費10割請求 (776件以上)



【問】

・ デイサービスなどの
食事代に補助を
・ 介護施設の送迎に支援を



【答弁】食事を利用しない方との公平性の観点から、本人が実費相当額を負担することが妥当。また、運転手の確保は介護職員の負担軽減につながるものの、事業者間の調整など課題もあり、実施は難しい。

食事代が負担で、デイサービスの利用回数を抑えている方も少なくありません。デイサービスを利用して元気になったのに、経済的な理由で利用を控えたために体が衰える方もいます。食事や入浴をはじめ利用者の生活を支えている介護事業所と利用者の意見をよく聴いて、必要な区の独自支援をふやしたい。



【問】算数セットや鍵盤ハーモニカなど、個人購入でなく学校備品に

【答弁】教材教具のうち「利益が個人に還元される」ものは保護者負担としている。教育委員会として「適切に」判断する。

区内の小学校のうち、算数セットをセット購入としているのは2校。他は算数カードなど主に使用するもののみ購入です。また、瑞光小は鍵盤ハーモニカの本体は学校備品とし、吹き口のみ購入としています。各学校で工夫していますが、教育委員会として各学校へ予算措置なども必要。学校教育は個人の利益ではなく社会の利益だという認識をひろげ、教育の負担軽減をすすめたい。



他の質問… ○同居家族がいる場合の生活援助の拡充を○家庭的保育も定員割れ助成の対象に○記号式投票、移動投票所の導入など投票支援を など

歩道の安全対策など みなさんの声で改善

5/28付レポートで「日光街道沿いの真養寺周辺（5丁目）の歩道が狭く危ない」というご意見を紹介しました。国道管理事務所に相談したところ、

街路樹が育ってきているので支柱を外し、雑草の駆除と剪定を行い、さっぱりとした歩道に。見通しも大分よくなりました。

オオキンケイギク また、6/11付の東京駆除を実施

ガス敷地内の外来種のオオキンケイギクについて、区の環境課に相談したところ、東京ガスと協議しさっそく在来植物保護のために駆除。



4号線沿い・改善前



4号線沿い・改善「後」



強力な繁殖力の外来種



在来植物のために駆除

さらに、区のホームページで「オオキンケイギクを見つけたらご連絡を」と新たに注意喚起も。

みなさんからのご意見、ご要望をまちづくりや暮らしに役立てます。お気づきのことがあれば、お気軽にお知らせ下さい。



「けやき通りでまた事故」…安全対策すすめたい

メール頂きました。「けやき通りを危険な車が走っていったという記事を読み、よく子どもと通るので怖いと思っていたところ、けやき通りの汐入公園前で、22日（木）夕方に軽とバイクの追突があったようです。23日（金）も車のブレーキと大きな声が聞こえて、自転車とぶつかる寸前だったようです。目の前に保育園もありますし、この辺はお年寄りの方も多いです。もう少しパトロールしていただけないでしょうか」

けやき通り周辺では2018～22年の5年間で14件の負傷事故が起きており、危険な目撃情報、体験も寄せられています。区の生活安全課、警察に対応を求めています。みなさんの情報が有効です。ヒヤリとした体験などお寄せください。



事故も多い…けやき通り

〈法律・生活相談〉

7月の定例法律相談日は 13日（木）です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第2木曜18時から。平日の午後には法律事務所（北千住）でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

幼稚園児の減少～子ども真ん中の環境づくりを

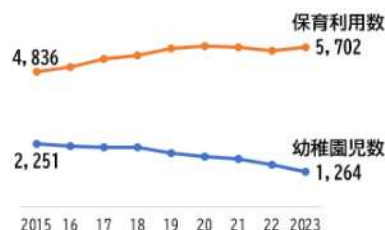
今年度の幼稚園児数は区立園280名、私立園984名（区内564名・区外420名）の合計1,264名。この間、児童数減でも保育利用が増える一方で、区立・私立幼稚園の利用は減少しています。

幼稚園 入園状況

	2021	2022	2023
区立幼稚園	399	335	280
私立幼稚園	1,327	1,152	984
区内	752	673	564
区外	575	479	420
合計	1,726	1,487	1,264

「認定こども園」は…保育園と幼稚園の両方の機能をもった施設で、0～5歳児が利用可能。

区は昨年6月に、区立幼稚園の8→4園へ半減、汐入こども園の中・短時間利用の廃止を提案し、今年度3歳児の募集を4園で中止に。また、黒川幼稚舎（荒川7）が幼稚園→認定こども園へ移行したことで幼稚園児数の減少となっています。



幼稚園、南千住に1園だけに？



区外の幼稚園に通園している子どもは420名で、足立、台東、北、葛飾など近隣区のほか、千代田、文京、江戸川なども。区内の私立園は6園ですが南千住地域にはなく、他区の幼稚園に通う子どもも少なくありません。

公立園は南千住第二、南千住第三と汐入こども園（中・短時間）の3か所ですが、南千住第三と汐入こども園（中・短時間）が廃止対象とされており、今後、南千住地域の幼稚園が1か所のみになる可能性があります。

それぞれの良さを大切に

万が一の災害時対応も考え、身近な地域で子どもを育む環境整備が必要です。育休支援や区立・私立、幼稚園・保育園のそれぞれの良さを生かした子育て支援を大切にしたい。

結婚・出産の希望を実現できる正規就労やジェンダー平等の社会に近づけないと、少子化がすすむばかりです。

区内の子どもが通う私立幼稚園

幼稚園名		人数
区内 (6園)	北豊島 (東尾久6)	172
	友の季ひまわり (町屋1)	125
	道灌山 (西日暮里4)	99
	黒川幼稚舎 (荒川7)	82
	真成 (東日暮里2)	54
	ワタナベ学園 (町屋2)	32
区外 (45園)	谷中 (台東区)	74
	田端さくら (北区)	74
	上中里 (北区)	54
	城北ひまわり (北区)	39
	台東初音 (台東区)	34
	明昭第二 (葛飾区)	25
	寛永寺 (台東区)	22
その他	桜輪 (北区)	15
	その他	83
計		984

「入院費用が高額…どうにかならない？」



ご相談頂きました。「家族が約2週間入院、窓口で国保の限度額適用認定証を提示したのに、支払いが20万円近くに。あまりに高すぎる、どうのこと？」

病院窓口で「限度額適用認定証」を提示することで、負担は限度額（世帯所得により異なる）となります。ただし、対象は保険適用の医療費のみで、差額ベッド代などは実費負担です。今回の場合、医療費負担は限度額2カ月で約14万円、保険外の差額ベッド代約6万円（1日あたり4,300円）は「個室しか空がない」など病院都合の場合には本来支払う必要はありませんが、支払い後の返還は協議が必要です。

医療費の負担は深刻、国の制度改善も必要です。ご心配があればご相談ください。

「認知症基本法」が成立～尊厳と自由をまもって

6月14日(水)、国会で「認知症基本法」が全会一致で可決。認知症の人が尊厳を守り希望をもって暮らせるよう、国や自治体の実効性のある取り組みが求められます。



当事者の声 基本理念では「常に認知症の人の立場に立って、活かした計画に 本人と家族の意向を尊重する」「認知症に関する

国民の理解を深める」「認知症の人が尊厳を保ち、地域でくらせる」ことなどを掲げています(右)。

荒川区も今後、自治体として基本理念に基づいた取り組みの計画策定が求められます。法では、計画作成の際に当事者や家族などの意見を聞くことも明記されており、荒川区でも大切にしたい。



認知症患者 昨年、区が行った調査では、65歳以上の0.6%が「認知症の治療中」と回答。区内の65歳以上人口に換算すると、約3,000人にあたります。

家族が認知症と診断され、要介護判定されてから、ケアマネジャーを自分で探すのが大変でした。

介護者ならではの悩みがたくさんあるので、介護経験者のアドバイスをもらえる場がほしい。



介護のために正社員を辞めざるを得なかった。高齢者の制度が充実していれば、と思うことが多々ある。自分が高齢になった時に金銭的な不安もあります。

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の基本理念

- (1) 常に認知症の人の立場に立ち、本人と家族の意向を尊重すること。
- (2) 認知症に関する理解を深め、本人と家族が日常生活・社会生活を円滑に営み、尊厳を保ちながら地域の人々と共生できること。
- (3) 認知症の人の意向を十分に尊重し、尊厳を保ち、保健医療サービス、福祉サービスその他のサービスを切れ目なく提供すること。
- (4) 認知症の本人だけでなく、家族などに対する必要な支援を行うこと。
- (5) 認知症に関する研究の推進、認知症と軽度認知障害に係る予防、診断、治療、リハビリテーション、介護方法等に関する研究開発等の普及、活用、発展。
- (6) 教育、地域づくり、雇用、保健、医療、福祉等の総合的な取組として行うこと

何が起ころか 調査には、介護知っておくこと 家族から様々な意見が寄せられました。家族が抱え込まず社会全体で支えるためには、身近な自治体の役割が重要です。他人事ではなく、みんなが認知症に関する知識や経験を交流して当事者任せにしない、そんなまちづくりができるといいなと思います。

ご意見・ご質問頂きました ○「コツ通りのゴミ出し問題」「さくら保育園の工事について」「にこにこスクールの時間延長について」「1丁目のマンションのゴミ置き場の改善について」などメール頂いてます。改めて、ご報告させていただきたいと思います。○「今年の男女平等度ランキングで、日本は146か国中125位、女性の政治家や管理職が少ないかららしい…、でも一番問題は女性は年金が少ない、一人暮らしになるとさらに深刻。…現役の給与格差が年金格差になってると思う」…本当ですね、日本社会のジェンダーギャップをみんなで切り替えたい。

